



2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月20日

上場会社名 株式会社 ミューチュアル
コード番号 2773 URL <https://www.mutual.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 洋

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 日野 豊

TEL 06-6315-8613

定時株主総会開催予定日 2022年6月29日 配当支払開始予定日 2022年6月15日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	9,418	16.5	774	37.9	831	36.0	537	42.5
2021年3月期	11,286	4.7	1,247	1.1	1,299	3.6	935	22.9

(注) 包括利益 2022年3月期 568百万円 (50.6%) 2021年3月期 1,151百万円 (39.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	83.34		5.1	5.2	8.2
2021年3月期	144.97		9.5	8.4	11.0

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 百万円 2021年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	16,745	11,158	64.2	1,665.20
2021年3月期	15,426	10,764	67.1	1,605.17

(参考) 自己資本 2022年3月期 10,743百万円 2021年3月期 10,356百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	848	67	174	6,918
2021年3月期	1,705	66	172	6,313

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期		0.00		25.00	25.00	161	17.2	1.6
2022年3月期		0.00		25.00	25.00	161	30.0	1.5
2023年3月期(予想)								

(注) 2022年5月20日付プレスリリース「株式会社エムズによる当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」において公表いたしました

とあり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の取引により当社は公開買付者の完全子会社となり、当社株式が上場廃止となる予定であることから2023年3月期の配当予想は記載していません。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

2022年5月20日付プレスリリース「株式会社エムズによる当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」において公表いたしました
とあり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の取引により当社は公開買付者の完全子会社となり、当社株式が上場廃止となる予定であることから2023年3月期の業績予想は記載していません。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	7,620,320 株	2021年3月期	7,620,320 株
期末自己株式数	2022年3月期	1,168,558 株	2021年3月期	1,168,505 株
期中平均株式数	2022年3月期	6,451,780 株	2021年3月期	6,451,873 株

(参考)個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	8,262	13.1	724	31.9	789	29.4	541	35.9
2021年3月期	9,511	8.6	1,064	3.5	1,118	9.3	845	25.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	83.99	
2021年3月期	131.10	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	14,711	9,785	66.5	1,516.78
2021年3月期	13,296	9,406	70.7	1,457.92

(参考) 自己資本 2022年3月期 9,785百万円 2021年3月期 9,406百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

2022年5月20日付プレスリリース「株式会社エムズによる当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」において公表いたしましたとおり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の取引により当社は公開買付者の完全子会社となり、当社株式が上場廃止となる予定であることから2023年3月期の業績予想は記載しておりません。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2022年5月20日付プレスリリース「株式会社エムズによる当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」において公表いたしましたとおり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の取引により当社は公開買付者の完全子会社となり、当社株式が上場廃止となる予定であることから2023年3月期の業績予想は記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 個別財務諸表及び主な注記	15
(1) 貸借対照表	15
(2) 損益計算書	17
(3) 株主資本等変動計算書	18
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	20
(継続企業の前提に関する注記)	20
(1株当たり情報)	20
5. その他	20
(1) 役員の変動	20
(2) その他	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス変異株の相次ぐ発生により緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用が長期化し、個人消費の低迷や経済活動の再開遅延等があったものの、政府による各種政策の効果もあり持ち直しも見られました。しかしながら本格的な収束には至っておらず、依然として先行きは不透明な状況が続いております。海外経済におきましてもロシアによるウクライナ侵攻等の地政学リスクに加え、サプライチェーンの混乱、資源価格の高騰等、世界景気の減速が懸念され非常に不透明な状況となっております。

このような状況下、当社グループでは引続き時差出勤やテレワーク、WEB会議による商談・打合せを推進する等、積極的な感染防止策を講じつつ営業活動を行って参りました。新開発機やデモ機、テスト装置を充実させ各種の展示会で幅広く紹介する等、受注獲得に注力するとともに、ジョブ型制度の導入や成長分野であるエンジニアリング業務、アフターサービス業務への人員増強等、人事面・管理面の強化も図って参りました。翌期への繰越受注残高は10,450百万円（前連結会計年度比97.2%増）となり、過去最高の受注残高となりました。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による期首受注残高の減少により、前年同期比1,867百万円減収となりました。損益面におきましては、上記減収に加え、一部低採算の案件があり売上高総利益率が前年同期比0.2ポイント低下し、売上総利益が510百万円減少した結果、営業利益以下の各段階利益も減益となりました。

これらの結果、当連結会計年度末の売上高は9,418百万円（前連結会計年度比16.5%減）、売上総利益は2,485百万円（同17.0%減）、営業利益は774百万円（同37.9%減）、経常利益は831百万円（同36.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は537百万円（同42.5%減）と減収減益となりました。

各事業別の概況は以下のとおりであります。

<産業用機械事業>

当社グループの主力事業である産業用機械事業は、売上高全体では8,972百万円（前連結会計年度比17.5%減）でありました。この内、医薬品業界が6,162百万円（同19.1%減）、化粧品業界が1,338百万円（同26.4%減）、食品業界が767百万円（同38.7%増）、その他業界が704百万円（同21.0%減）となりました。

<工業用ダイヤモンド事業>

工業用ダイヤモンド事業は、事業売上高として446百万円（前連結会計年度比9.5%増）となりました。主なユーザーは自動車業界、半導体業界であります。

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額 (千円)	前連結会計年度比 (%)
産業用機械事業	8,972,015	82.5
（医薬品）	(6,162,272)	(80.9)
（化粧品）	(1,338,033)	(73.6)
（食品）	(767,587)	(138.7)
（その他）	(704,121)	(79.0)
工業用ダイヤモンド事業	446,746	109.5
合計	9,418,762	83.5

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(a) 流動資産

当連結会計年度末の流動資産の残高は、13,401百万円となり、1,376百万円（前連結会計年度比11.4%）増加しました。これは主として仕掛品が196百万円（同14.8%）減少しましたが、現金及び預金が605百万円（同9.5%）、前渡金が395百万円（同130.3%）それぞれ増加したことによるものであります。

(b) 固定資産

当連結会計年度末の固定資産の残高は、3,344百万円となり、56百万円（前連結会計年度比1.7%）減少しました。これは主として投資有価証券が48百万円（同2.9%）、建物及び構築物（純額）が29百万円（同6.4%）それぞれ減少したことによるものであります。

(c) 流動負債

当連結会計年度末の流動負債の残高は、5,322百万円となり、913百万円（前連結会計年度比20.7%）増加しました。これは主として未払法人税等が134百万円（同57.3%）減少しましたが、前受金が793百万円（同84.2%）、支払手形及び買掛金、電子記録債務が合計で449百万円（同16.5%）それぞれ増加したことによるものであります。

(d) 固定負債

当連結会計年度末の固定負債の残高は、265百万円となり、11百万円（前連結会計年度比4.6%）増加しました。これは主として繰延税金負債が6百万円（同21.3%）、役員退職慰労引当金が4百万円（同5.0%）それぞれ増加したことによるものであります。

(e) 純資産

当連結会計年度末の純資産の残高は、11,158百万円となり、393百万円（前連結会計年度比3.7%）増加となりました。これは利益剰余金が376百万円（同4.1%）増加したことが主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により獲得した資金848百万円、投資活動により使用した資金67百万円、財務活動により使用した資金174百万円の結果、前連結会計年度比605百万円増加し、6,918百万円（前連結会計年度比9.6%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は848百万円（前連結会計年度比50.3%減）となりました。これは、税金等調整前当期純利益が832百万円であった他、法人税等の支払額401百万円、前渡金の増加395百万円等により減少したものの、前受金の増加793百万円、仕入債務の増加449百万円等により増加したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は67百万円（前連結会計年度比2.0%増）となりました。これは、投資有価証券の取得による支出37百万円、有形固定資産の取得による支出21百万円等により減少したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は174百万円（前連結会計年度比1.5%増）となりました。これは、配当金の支払額161百万円等により減少したものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
自己資本比率 (%)	64.5	59.0	60.3	67.1	64.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	41.4	38.7	30.1	38.2	27.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	11.9	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	265.3	1,075.0	7,316.3	2,862.8	4,408

・自己資本比率：自己資本／総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 2019年3月期末、2020年3月期末、2021年3月期末、2022年3月期末のキャッシュ・フロー対有利子負債比率については、有利子負債がないため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

2022年5月20日付プレスリリース「株式会社エムズによる当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」において公表いたしましたとおり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の取引により当社は公開買付者の完全子会社となり、当社株式が上場廃止となる予定であることから2023年3月期の業績予想は記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、当社の株主構成比率の推移及び国内他社の動向を踏まえて検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,396,930	7,002,179
受取手形及び売掛金	3,021,427	3,047,709
契約資産	—	7,113
電子記録債権	686,431	542,711
有価証券	37,269	108,181
商品及び製品	55,863	56,727
仕掛品	1,325,867	1,129,344
原材料	81,453	78,492
前渡金	303,348	698,480
その他	120,312	732,705
貸倒引当金	△3,630	△2,199
流動資産合計	12,025,273	13,401,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	453,616	424,421
機械装置及び運搬具（純額）	47,358	33,822
土地	571,012	571,012
その他（純額）	10,055	10,379
有形固定資産合計	1,082,043	1,039,636
無形固定資産		
その他	17,893	12,628
無形固定資産合計	17,893	12,628
投資その他の資産		
投資有価証券	1,665,813	1,617,231
繰延税金資産	102,467	97,597
退職給付に係る資産	24,145	25,761
長期預金	1,500	1,500
その他	512,889	555,718
貸倒引当金	△5,429	△5,608
投資その他の資産合計	2,301,386	2,292,200
固定資産合計	3,401,323	3,344,466
資産合計	15,426,597	16,745,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,651,748	1,822,184
電子記録債務	1,075,053	1,354,546
未払法人税等	234,960	100,325
前受金	942,189	1,735,557
賞与引当金	96,144	82,131
役員賞与引当金	7,000	4,000
その他	401,192	223,330
流動負債合計	4,408,289	5,322,075
固定負債		
繰延税金負債	29,164	35,387
役員退職慰労引当金	85,448	89,720
退職給付に係る負債	17,759	21,348
その他	121,136	118,685
固定負債合計	253,509	265,141
負債合計	4,661,798	5,587,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	725,702	725,702
利益剰余金	9,108,614	9,485,003
自己株式	△769,638	△769,686
株主資本合計	9,734,378	10,110,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	621,942	624,435
繰延ヘッジ損益	1,619	9,463
為替換算調整勘定	△1,698	△1,155
その他の包括利益累計額合計	621,864	632,743
非支配株主持分	408,556	415,234
純資産合計	10,764,798	11,158,697
負債純資産合計	15,426,597	16,745,914

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	11,286,207	9,418,762
売上原価	8,290,307	6,933,634
売上総利益	2,995,899	2,485,127
販売費及び一般管理費	1,748,848	1,710,383
営業利益	1,247,051	774,744
営業外収益		
受取利息	7,696	7,972
受取配当金	25,175	31,453
投資有価証券評価益	14,795	—
投資有価証券売却益	—	6,600
為替差益	4,175	3,122
助成金収入	485	2,907
その他	6,410	5,840
営業外収益合計	58,738	57,896
営業外費用		
支払利息	595	192
投資有価証券評価損	—	530
貸倒引当金繰入額	5,253	341
その他	916	476
営業外費用合計	6,766	1,540
経常利益	1,299,024	831,100
特別利益		
固定資産売却益	3,327	1,572
特別利益合計	3,327	1,572
特別損失		
固定資産除却損	344	—
特別損失合計	344	—
税金等調整前当期純利益	1,302,006	832,672
法人税、住民税及び事業税	424,657	269,844
法人税等調整額	△116,320	5,242
法人税等合計	308,337	275,087
当期純利益	993,669	557,584
非支配株主に帰属する当期純利益	58,350	19,900
親会社株主に帰属する当期純利益	935,318	537,684

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	993,669	557,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	159,493	2,492
繰延ヘッジ損益	2,819	7,843
為替換算調整勘定	△4,474	543
その他の包括利益合計	157,839	10,879
包括利益	1,151,508	568,464
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,093,157	548,564
非支配株主に係る包括利益	58,350	19,900

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	669,700	725,702	8,334,592	△769,582	8,960,412
当期変動額					
剰余金の配当			△161,296		△161,296
親会社株主に帰属する当期純利益			935,318		935,318
自己株式の取得				△55	△55
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	774,021	△55	773,966
当期末残高	669,700	725,702	9,108,614	△769,638	9,734,378

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	462,449	△1,199	2,775	464,025	362,138	9,786,575
当期変動額						
剰余金の配当						△161,296
親会社株主に帰属する当期純利益						935,318
自己株式の取得						△55
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	159,493	2,819	△4,474	157,839	46,417	204,256
当期変動額合計	159,493	2,819	△4,474	157,839	46,417	978,223
当期末残高	621,942	1,619	△1,698	621,864	408,556	10,764,798

当連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	669,700	725,702	9,108,614	△769,638	9,734,378
当期変動額					
剰余金の配当			△161,295		△161,295
親会社株主に帰属する当期純利益			537,684		537,684
自己株式の取得				△48	△48
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	376,389	△48	376,341
当期末残高	669,700	725,702	9,485,003	△769,686	10,110,719

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	621,942	1,619	△1,698	621,864	408,556	10,764,798
当期変動額						
剰余金の配当						△161,295
親会社株主に帰属する当期純利益						537,684
自己株式の取得						△48
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	2,492	7,843	543	10,879	6,677	17,557
当期変動額合計	2,492	7,843	543	10,879	6,677	393,898
当期末残高	624,435	9,463	△1,155	632,743	415,234	11,158,697

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,302,006	832,672
減価償却費	61,033	56,606
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	865	△1,252
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,741	△14,013
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,171	3,588
受取利息及び受取配当金	△32,871	△39,425
支払利息	595	192
投資有価証券評価損益 (△は益)	△14,795	530
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6,600
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3,327	△1,572
売上債権の増減額 (△は増加)	1,229,358	107,511
前受金の増減額 (△は減少)	△931,435	793,367
棚卸資産の増減額 (△は増加)	435,178	198,620
仕入債務の増減額 (△は減少)	△327,058	449,929
前渡金の増減額 (△は増加)	87,075	△395,132
その他	373,249	△772,826
小計	2,154,305	1,212,197
利息及び配当金の受取額	31,785	37,991
利息の支払額	△595	△192
法人税等の支払額	△479,596	△401,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,705,899	848,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△89,900	△89,900
定期預金の払戻による収入	89,900	89,900
有価証券の取得による支出	△16,525	△3,484
有価証券の償還による収入	12,976	12,884
有形固定資産の取得による支出	△1,330	△21,193
有形固定資産の売却による収入	4,678	3,245
無形固定資産の取得による支出	△1,809	△5,188
投資有価証券の取得による支出	△22,047	△37,937
投資有価証券の売却による収入	475	7,937
その他	△42,938	△24,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,521	△67,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△159,899	△161,635
非支配株主への配当金の支払額	△11,932	△13,222
その他	△412	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,244	△174,906
現金及び現金同等物に係る換算差額	474	△26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,467,609	605,249
現金及び現金同等物の期首残高	4,845,421	6,313,030
現金及び現金同等物の期末残高	6,313,030	6,918,279

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来は検収基準を適用していた契約のうち、一定期間にわたり履行義務が充足される契約については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

この結果、当連結会計年度の売上高は7,113千円増加し、売上原価は7,113千円増加いたしました。営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各営業部署において取り扱っている製商品・サービスについて、営業本部を設置して国内外の関連会社も含めた営業戦略を策定、統括しております。

したがって、当社は、営業部署を基礎とした製商品・サービス別のセグメントから構成されており、「産業用機械事業」及び「工業用ダイヤモンド事業」の2つを報告セグメントとしております。

「産業用機械事業」は、医薬品業界、化粧品業界、食品業界等への包装関連設備を中心とした産業用機械等の改良・製造・販売を行っております。「工業用ダイヤモンド事業」は、自動車業界、半導体業界等へ工業用ダイヤモンドの販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	産業用機械事業	工業用ダイヤモンド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,878,292	407,914	11,286,207	—	11,286,207
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,878,292	407,914	11,286,207	—	11,286,207
セグメント利益	1,733,677	47,476	1,781,154	△534,102	1,247,051

- (注) 1. セグメント利益の調整額△534,102千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	産業用機械事業	工業用ダイヤモンド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,972,015	446,746	9,418,762	—	9,418,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,972,015	446,746	9,418,762	—	9,418,762
セグメント利益	1,263,444	61,471	1,324,915	△550,171	774,744

- (注) 1. セグメント利益の調整額△550,171千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	1,605.17円	1,665.20円
1株当たり当期純利益	144.97円	83.34円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	935,318	537,684
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	935,318	537,684
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,451	6,451

(重要な後発事象)

当社は、2022年5月20日開催の取締役会において、株式会社エムズ（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、本公開買付けに賛同の意見を表明するとともに、当社株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨する旨の決議をいたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後に予定されている一連の手続を経て、当社を公開買付者の完全子会社とすることを企画していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細については、2022年5月20日公表の「株式会社エムズによる当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」をご参照ください。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,430,803	6,085,606
受取手形	523,668	311,330
電子記録債権	657,143	527,293
売掛金	2,054,896	2,274,128
契約資産	—	7,113
有価証券	234	519
商品	55,863	56,727
仕掛品	972,707	843,931
原材料	38,328	36,791
前渡金	312,350	807,307
関係会社短期貸付金	89,225	—
その他	78,089	694,846
貸倒引当金	△323	△311
流動資産合計	10,212,988	11,645,284
固定資産		
有形固定資産		
建物	327,073	305,310
構築物	1,705	1,313
機械及び装置	30,534	19,747
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	7,967	8,788
土地	402,570	402,570
有形固定資産合計	769,851	737,730
無形固定資産		
ソフトウェア	10,531	5,631
その他	2,295	2,295
無形固定資産合計	12,826	7,926
投資その他の資産		
投資有価証券	1,308,051	1,306,767
関係会社株式	463,386	463,386
長期貸付金	8,536	7,336
破産更生債権等	1,175	1,000
長期預金	1,500	1,500
前払年金費用	24,145	25,761
繰延税金資産	54,553	48,257
その他	445,246	472,519
貸倒引当金	△5,429	△5,595
投資その他の資産合計	2,301,166	2,320,933
固定資産合計	3,083,844	3,066,590
資産合計	13,296,832	14,711,874

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	445,345	454,173
電子記録債務	1,323,853	1,567,905
買掛金	661,125	897,363
未払法人税等	197,880	74,818
前受金	848,503	1,609,376
賞与引当金	78,000	64,000
その他	220,020	144,950
流動負債合計	3,774,728	4,812,587
固定負債		
その他	115,900	113,412
固定負債合計	115,900	113,412
負債合計	3,890,629	4,925,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金		
資本準備金	695,975	695,975
資本剰余金合計	695,975	695,975
利益剰余金		
利益準備金	39,500	39,500
その他利益剰余金		
別途積立金	5,020,000	5,020,000
繰越利益剰余金	3,194,669	3,575,237
利益剰余金合計	8,254,169	8,634,737
自己株式	△769,638	△769,686
株主資本合計	8,850,205	9,230,726
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	554,377	545,685
繰延ヘッジ損益	1,619	9,463
評価・換算差額等合計	555,997	555,148
純資産合計	9,406,203	9,785,875
負債純資産合計	13,296,832	14,711,874

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	9,511,623	8,262,892
売上原価	7,146,416	6,241,363
売上総利益	2,365,206	2,021,528
販売費及び一般管理費	1,301,104	1,296,595
営業利益	1,064,102	724,933
営業外収益		
受取利息	1,422	530
受取配当金	39,099	46,175
経営指導料	5,000	5,000
投資有価証券売却益	—	6,600
為替差益	5,905	736
その他	8,051	6,508
営業外収益合計	59,477	65,550
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	5,253	341
その他	76	293
営業外費用合計	5,330	635
経常利益	1,118,249	789,848
特別利益		
貸倒引当金戻入額	63,184	—
固定資産売却益	—	185
特別利益合計	63,184	185
特別損失		
固定資産除却損	243	—
関係会社株式評価損	104,391	—
特別損失合計	104,634	—
税引前当期純利益	1,076,799	790,034
法人税、住民税及び事業税	348,900	241,500
法人税等調整額	△117,912	6,670
法人税等合計	230,987	248,170
当期純利益	845,812	541,863

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	669,700	695,975	695,975	39,500	5,020,000	2,510,154	7,569,654	△769,582	8,165,746	
当期変動額										
剰余金の配当						△161,296	△161,296		△161,296	
当期純利益						845,812	845,812		845,812	
自己株式の取得								△55	△55	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	684,515	684,515	△55	684,459	
当期末残高	669,700	695,975	695,975	39,500	5,020,000	3,194,669	8,254,169	△769,638	8,850,205	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	446,157	△1,199	444,957	8,610,704
当期変動額				
剰余金の配当				△161,296
当期純利益				845,812
自己株式の取得				△55
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	108,219	2,819	111,039	111,039
当期変動額合計	108,219	2,819	111,039	795,498
当期末残高	554,377	1,619	555,997	9,406,203

当事業年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	669,700	695,975	695,975	39,500	5,020,000	3,194,669	8,254,169	△769,638	8,850,205
当期変動額									
剰余金の配当						△161,295	△161,295		△161,295
当期純利益						541,863	541,863		541,863
自己株式の取得								△48	△48
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	380,568	380,568	△48	380,520
当期末残高	669,700	695,975	695,975	39,500	5,020,000	3,575,237	8,634,737	△769,686	9,230,726

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	554,377	1,619	555,997	9,406,203
当期変動額				
剰余金の配当				△161,295
当期純利益				541,863
自己株式の取得				△48
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△8,692	7,843	△848	△848
当期変動額合計	△8,692	7,843	△848	379,671
当期末残高	545,685	9,463	555,148	9,785,875

(4) 個別財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	1,457.92円	1,516.78円
1株当たり当期純利益	131.10円	83.99円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益 (千円)	845,812	541,863
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	845,812	541,863
期中平均株式数 (千株)	6,451	6,451

5. その他

(1) 役員の変動

①代表取締役の変動 (2022年6月29日付)

退任予定代表取締役

代表取締役会長兼CEO 三浦 隆

②その他の役員の変動

該当事項はありません。

(2) その他

該当事項はありません。